



第241号 令和7年(2025年)11月20日

市議会だより

■主な内容

9月定例議会の概要	2
各委員会での主な議案審査状況	2
議決一覧	8
一般質問	10
ふれあいミーティング開催のお知らせ	12
常任委員会視察報告	13
特別委員会の設置	15

こども議会を開催

8月21日、本会議場で市主催のこども議会が開催されました。こども議員の皆さんからは、多文化共生、環境、伝統産業、災害対策、交通安全、公共交通、空き家対策など、鈴鹿市をより住みやすいまちにしようとするたくさんの質問・提案が投げかけられました。

市議会でも、来年2月、こどもと議員のイベントを開催します。詳細は12ページをご覧ください。



市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のウェブサイトをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<https://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



9月定例議会の概要

令和7年度一般会計補正予算（第1号）や 令和6年度一般会計決算を中心に24議案を可決・認定・同意

9

月定例議会を、9月1日から9月29日までの29日間の期間で開催しました。

まず、初日の9月1日には、市長から「令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算（第1号）」など17件の議案が提出され、提案説明が行われました。

9月10日には、提出議案に対する質疑に引き続き、10日、11日、12日及び16日に15名の議員が一般質問を行いました。

16日には、議案17件及び「自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求める請願書」など3件の請願を各委員会に付託し、16日、17日、18日及び25日に、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の29日には、総務、産業建設及び予算決算委員会委員長から付託議案について審査結果の報告があり、2名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案17件はいずれも可決または認

定しました。次に、請願3件について総務及び文教環境委員会委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、いずれも採択しました。次に、委員会発議案3件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、可決しました。

続いて、鈴鹿市議会議員及び職員に係るハラスメントの防止に関する調査研究を目的に、7名の委員をもって構成する「ハラスメント対策検討特別委員会」の設置を決定し、委員の選任を行いました。

その後、「鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について」など4件の議案が市長から追加提出され、提案説明の後、採決の結果、いずれも同意することに決定しました。

最後に、11月24日までを休会とすることを決定し、散会しました。

各委員会での主な議案審査状況

総務委員会

議案第51号 財産の取得について



9月18日 (午前) 9月18日 (午後)

大型水槽車の配備

【概要】 消防力の強化および充実を図るために、中央消防署に配備している大型水槽車を更新しようとするもの。

質疑 今回配備する大型水槽車の特徴は。

答弁 現在配備中の車両は、可搬型のポンプのB級を積載している。今回更新する車両はA-2級のポンプを積載し、これにより放水および消火能力が格段に向上する。

質疑 購入する大型水槽車は、消防本部が仕様をカスタマイズしたのか。

答弁 消防車両は、各消防本部が必要とする仕様書を定め、艤装（※）を組んでいる。全国統一の仕様ではなく、本市消防本部が必要な機能を搭載している。

※船舶・自動車の製造過程のうち、船体・車体が完成した後に各種装備を取り付ける工程。
また、その工程で取り付けられる各種装備。

予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細に行いました。その後、予算決算委員会の全体会において、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第44号 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)



9月18日
(午前) 9月18日
(午後)

消防団力の向上に向けて

○消防団活動費／団員活動費 332万1,000円

【概要】 消防庁が実施する「消防団の力向上モデル事業」に提案した事業が採択され、消防庁から本市への委託事業として実施することが決定したため、事業計画に基づき必要な活動経費を計上するもの。

質疑

消防団の力向上モデル事業の詳細は。また応募した経緯は。

答弁

本市の消防団の充足率は、これまで95%以上を確保しているが、プロモーション動画の作成や生活情報誌への掲載、チラシ発行などを行い、消防団の魅力をさらに市民に発信し、消防団のかっこよさをPRするため、今回モデル事業に応募した。

企業版ふるさと納税を活用した維持修繕

○河川防災センター／維持修繕費 1,360万5,000円

【概要】 大規模災害時に現地活動拠点となる河川防災センターの老朽化した空調設備の改修に要する経費を計上するもの。

質疑

企業版ふるさと納税の寄附金を活用した河川防災センターの修繕は、この時期に修繕予定であったのか。

答弁

令和8年度の予算に計上すべく準備していたが、企業版ふるさと納税を受領できることとなり、修繕を前倒しで実施する。

地震解錠ボックスを新規に設置

○防災施設環境整備費／避難所等環境整備費 173万8,000円

【概要】 県の補助金制度の見直しに伴い、基幹収容避難所に設置する地震解錠ボックスの追加購入（4カ所分）に要する経費を増額計上するもの。

質疑

4台の地震解錠ボックスの設置場所は。

答弁

天名小学校、椿小学校、庄内小学校、合川小学校の4校を予定している。



地震解錠ボックス

文教環境分科会



9月17日
(午前) 9月17日
(午後)

Honda 鈴鹿硬式野球部を本市が応援

○都市対抗野球大会費 377万6,000円

【概要】 Honda鈴鹿硬式野球部が、本市を代表して第96回都市対抗野球大会に出場することから、市民に広く周知するための新聞広告や壮行会の開催、市民応援団の派遣に要する経費を計上するもの。



都市対抗野球大会の様子

質疑

結果的に1回戦までとなつたが、発生する残額は。

答弁

市民応援団の旅費の関係は、本田技研工業株式会社鈴鹿製作所との間で精算中である。精算結果後は最終の決算をまとめ、減額の補正を行う見込みである。

議案第54号 令和6年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

家庭用太陽光発電設備などの設置を補助

○太陽光発電設備等設置費補助事業費 1,201万4,980円

質疑

申請と交付の状況は。また、市独自の補助の有無について。

答弁

国の交付金による県からの間接補助事業の形で実施しており、令和6年度は、広報すずかの情報館のページや市ウェブサイトなどで補助の募集・周知を行い、6月5日から6月28日までの約1カ月間に受け付けを行ったところ、予算の残額が出た。そこで、第2回目として9月2日から9月27日までの約1カ月間の期間で再度募集を行った結果、予算額を上回ったため、抽選の上で交付決定を行った。

その結果、24件の申請に対し、交付決定件数は18件であった。なお、補助の額は県からの配分によって決定し、市独自の補助はない。

学校施設の空調設備に関する方針

○教育施設環境整備費／普通教室等空調設備整備費

(小学校費: 1億107万3,096円、中学校費: 3,953万2,536円)

○教育施設環境整備費／屋内運動場空調設備整備費

(小学校費: 8,571万560円、中学校費: 357万5,000円)

質 疑

空調設備のリース料、補助金額およびリースアップ後の利用方針は。

答 弁

普通教室は、10年間のリース契約の総額で小中学校合わせて 14億605万7,000円。屋内運動場は、令和5年度がモデル事業として契約した 7,692万3,000円、令和6年度が5年間のリース契約で 4億3,376万6,000円である。なお、リースは国の補助金の対象外である。リースアップ後は市の所有となり、随時修理しながら利用を継続する予定である。

質 疑

空調設備整備に伴う学校体育施設開放の料金設定は。

答 弁

学校の施設開放については、現在は電灯使用料として一律 200 円と電話料金を徴収している。今後、空調設備整備による電気料金の増加を踏まえながら、改めて料金を定めていく。

地域福祉分科会



議案第44号 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)

9月18日
(午前)

9月18日
(午後)

マイナンバーカードの更新に対応するための整備

○個人番号カード等交付事務費 484万1,000円

【概 要】 マイナンバーカードの更新に係る来庁者が急増しており、窓口業務を優先的に対応する必要があるため、電話対応業務を外部委託する費用を計上するもの。

質 疑

電話問い合わせや予約受付業務を外部に委託する方法のシェアード型とはどのようなものか。

答 弁

市役所の本庁内で電話業務を委託するのではなく、ビルの1室などで、他の市町の業務と合わせた受託管理となる。業務に必要な場所、機器、備品の設置場所、執務エリアなどは受託事業者がすべて用意する。

質 疑

マイナンバーに関する秘密保持などの観点を踏まえた受託業者との契約内容は。

答 弁

マイナンバーカードは全国統一で、5年更新、10年更新や暗証番号の設定など、定型的な業務、簡易な問い合わせが多く、それらについて外部委託するものである。それ以外の問い合わせに関しては、戸籍住民課に電話をいただくことになる。

新型コロナワクチンの定期接種の実施

○定期予防接種費 6,766万3,000円

【概要】 新型コロナワクチンの定期接種を実施するに当たり、医療機関への予防接種委託料などを計上するもの。接種対象は 65歳以上の者および 60~64歳の基礎疾患有する者で、接種時期は秋冬ごろの予定である。

質疑 厚生労働省などから定期接種に使用するワクチンの株について説明はあるのか。また、副反応情報は発信していくのか。

答弁 新型コロナワクチンは、令和6年度から定期予防接種のB類疾病に位置付けられている。B類疾病は公益財団法人予防接種リサーチセンター発行のガイドラインなどに基づき実施している。ガイドラインでは、新型コロナワクチン接種について、その時々で流行している株に対応したワクチンを用いることで、重症化予防、発症予防効果の向上が期待されると示されている。

副反応については、接種後に接種部位の痛み、倦怠感や発熱などさまざまな症状が確認されており、副反応の状況が見られた方は、医療機関から厚生労働省へ、速やかに報告されるシステムとなっている。

副反応報告や今年度始まる新型コロナワクチンの定期接種に関する情報については、市のウェブサイトなどで、対象者へ周知を図っていく。

議案第54号 令和6年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

帯状疱疹ワクチンの接種状況および発生状況

○任意予防接種費／帯状疱疹ワクチン接種費 2,769万6,000円

質疑 対象者の接種率、また接種後の帯状疱疹の発生状況は。

答弁 令和6年度は、2回受ける不活化ワクチンが2,548件、1回受ける生ワクチンが553件で、計3,101件に助成している。50歳以上が対象で、対象者の約3.3%の方が接種している。

接種することにより、不活化ワクチンは発症予防効果が90%以上で、長期予防効果が9年、生ワクチンの発症予防効果は50~60%で、長期予防効果は5年程度あり、発症予防につながっている。



産業建設分科会



議案第54号 令和6年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

9月17日

海岸部の地籍調査の詳細

○地籍調査費 1,924万9,128円

質 疑

長太地区、箕田地区および若松地区などの海岸部の進捗状況は。

答 弁

白子地区、寺家地区の調査は完了し、現在は磯山地区に取り組んでいる。若松地区、箕田地区は国の補助金を活用し、基準点の設置は行っているが、現在行っている磯山地区の調査が数年かかるため、若松地区、箕田地区、長太地区については、今後計画を立て、北に向かって事業を展開していく予定である。

質 疑

どのくらいの期間で海岸部の地籍調査を行う予定か。

答 弁

東日本大震災以降、地籍調査に取り組む自治体が増えており、県に対して予算確保に努めているが、若松地区、箕田地区の地籍調査がいつ始まり、いつ終わるかという計画は立てていない状況である。

鳥獣被害の状況

○鳥獣被害対策費 450万3,844円

質 疑

イノシシ、サル、シカ、アライグマ、ヌートリアの捕獲数は。

答 弁

令和6年度の捕獲数は、イノシシが110頭、サルが4頭、シカが95頭、アライグマが110匹、ヌートリアが0匹となっている。

質 疑

捕獲業務の委託先はどこか。

答 弁

令和6年度まではシルバーハンセンターに依頼していたが、令和7年度から獣友会に委託している。

議案第59号 令和6年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

水道料金の改定に関する考え方

○水道料金 36億1,372万8,902円

質 疑

物価の変動に沿って、水道料金を毎年改定することはできないのか。

答 弁

水道料金を毎年改定することは現実的には難しいが、現在、令和9年度以降の経営戦略を経営審議会で審議しているため、水道料金についても審議会委員から意見を聞きながら整理していきたい。

討論（要旨）

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

<議案第44号～議案第60号について>

諸 派 (日本共産党)	石田 秀三 議員	市民の声	中西 大輔 議員
----------------	----------	------	----------

議案第45号・議案第46号・議案第54号に 反対 その他議案は賛成

生活保護での自動車保有・利用をめぐる2件の裁判は、地裁・高裁とも保護の停止は違法との判決で市は敗訴となった。間違いをはっきり認め、市民の人権が守られる鈴鹿市へ、原点に返って努力されたい。

全議案に賛成

令和6年度の事業で市民参画に対する市の姿勢の後退を感じる部分、説明責任に対して意識の低下を感じる場面が多くあった。市民、住民のための地方公共団体であり、抜本的な改善を求める賛成する。

議決一覧（9月定例議会）

【全会一致で可決・認定・同意した議案など】

議案番号など	件 名
議案第44号	令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)
議案第47号	鈴鹿市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第48号	鈴鹿市職員の育児休業等に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
議案第49号	鈴鹿市水道事業給水条例の一部改正について
議案第50号	鈴鹿市公共下水道条例の一部改正について
議案第51号	財産の取得について
議案第52号	市道の認定について
議案第53号	市道の廃止について
議案第55号	令和6年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
議案第56号	令和6年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について
議案第57号	令和6年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について
議案第58号	令和6年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
議案第59号	令和6年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
議案第60号	令和6年度鈴鹿市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
議案第61号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について
議案第62号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について
議案第63号	人権擁護委員候補者の推薦同意について
議案第64号	人権擁護委員候補者の推薦同意について

(次ページに続く)

(前ページから続く)

【賛成多数で可決・認定した議案など（表決が分かれた議案など）】

議案番号など	件 名
議案第45号	令和7年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第46号	令和7年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第54号	令和6年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

委員会発議案 第5号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書
委員会発議案 第6号	教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
委員会発議案 第7号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書

請願第3号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求める請願書
請願第4号	教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書
請願第5号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書

※ 可決した3件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。なお、提出した意見書は、市議会ウェブサイトにて閲覧できます。



【表決が分かれた議案などに対する各議員別の賛否状況 ○：賛成 ×：反対】

※会派名は、鈴和および日本共産党は諸派、無は無所属です。

※議長 野間芳実は原則として採決に加わりません。

※曾我正彦議員および田中淳一議員の2名は三重県議会議員補欠選挙に立候補したため、8月29日付で自動失職となりました。

会派名	新緑風会							自由民主党鈴鹿市議団							市民の声							公明党			鈴和		日本共産党		無
議員名	山中智博	大杉吉包	水谷進	山口善之	河尻浩一	加藤公友	松葉谷光由	森雅之	野間芳実	森喜代健	宮木龍三	太田常朗	桐生大輔	中西哲夫	市川啓介	薮田昇	市川藤井	市川藤浪	池上茂樹	船間涼子	田中通	南条雄士	高橋さつき	石田秀三	矢田真佐美				
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○			
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○		
議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○		
委員会発議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
委員会発議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
委員会発議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
請願第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
請願第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
請願第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		



起立採決の様子

一般質問（要旨）

公明党

藤浪 清司 議員

温暖化対策について

（質問）温暖化対策の手法として、断熱性能向上や空調設備等改修による省エネと、太陽光発電設備と蓄電設備導入による創エネを組み合わせることで、年間の一次エネルギー消費量正味ゼロ、削減率100%以上を目指した建物である「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」化を進めるべきではないか。

（答弁）継続的に使用することが見込まれる施設や市民ニーズが高い施設を見極めた上で、今後もそれらに対してZEBの考え方や手法を生かした公共施設整備を進めていく。

その他の質問 ○新公会計制度

一般質問は、定例議会において提案された議案に關係なく、市の一般事務について市の方針をただすものです。

市民の声

中西 大輔 議員

桜の森公園施設整備について

（質問）桜の森公園に薬膳飲食施設を建設するための設計業務の進捗状況は。鈴鹿市整第1986号から、施設整備の約1億5,000万円がほぼ全額市負担の考えは疑問、運営撤退の可能性など課題対応の考えは。次期の市長公約もしくは総合計画2031後期基本計画で再提案してはどうか。

（答弁）現在は、改めて事業の詳細を再考している。再考前の考えとしては、赤字経営分は大学が負担、事業が決算で赤字の場合、市と大学で健全な経営改善を考える。維持・修繕は市の予算からの考えになっている。

精査の上、適切に対応したい。

市民の声

薮田 啓介 議員

障がい者在宅就労支援について

（質問）障がいの方が完全在宅就労移行支援について相談をしたところ、本市では前例がないという説明で在宅就労移行支援ができないと言われたがなぜか。また、2021年厚生労働省の就労系障害福祉サービス利用にかかるガイドラインの在宅就労支援を理解していたのか。

（答弁）厚労省では特に緊急時の対応が重要視されており、緊急対応が担保されない在宅利用による支援は原則として認められないと明記されている。厚労省の通知などについては情報を共有し、対応にばらつきがないようにスキルアップに努めている。

公明党

池上 茂樹 議員

大規模災害への備えについて

（質問）国の避難所運営指針で参考にすべきスマート基準が示された。これによると収容避難所の居住空間では、1人最低3.5平方メートル以上、トイレは20人に1基以上で、その割合は男性1に対し女性は3となっている。本市の収容避難所の現状について聞く。

（答弁）発災から1週間後で避難者数が約1万9,000人と最大となる。1人当たりの居住スペースは約3.8平方メートルで基準を満たしている。一般用および介護用の簡易トイレが424基、マンホールトイレが262基で合計686基。約30人に1基の割合となる。

市民の声

藤井 栄治 議員

学校給食について

（質問）全国1,794自治体のうち約4割にあたる722自治体が給食無償化などを実施している。本市でも早期に給食無償化を進める必要があると考える。米価（新米）が昨年に比べて1.6～1.8倍に上昇している中、秋以降の給食費の公費助成を本市は検討しているのか。

（答弁）本市としても令和7年産米の価格が高騰する見込みであることを認識している。今後の新米の単価や学校給食費全体の所要額を見極めた上で、適切に判断していきたい。

その他の質問 ○不登校対策 ○中高生の居場所と施設予約

無所属

矢田 真佐美 議員

市民のいのちに関わる行政サービス

（質問）鈴鹿市の救急搬送の現状と内容とその傾向について伺う。

（答弁）令和3年以降救急救命士の救急車搭乗率は100%。令和6年の実数として出動件数11,247件、救急搬送された人は10,417人。年齢別では65歳以上の高齢者が6割弱、次いで18歳以上の成人が3割。昨年熱中症で搬送された人は178人、今年は8月末時点で152人。また男女比は66対34で男性の搬送が多い。搬送に至らない事情は種々ある中で明らかな死亡事案は全出動件数の1.3%で146件。

その他の質問 ○中学校を中心とした校区の見直し

農業問題と対策について

(質問) 平成以降生産者の高齢化や後継者不足が進みさらに資材や肥料などが高騰している中、本年の米価と高温対策は。

(答弁) 30年前と比較して農家数が5割強、耕地面積は約2割減少した。稲作については、高温に強い品種の「三重23号」が平成24年に誕生し、一等米となった比率は95%と非常に高い。国において米、野菜など一定の品目を対象に生産、集出荷、卸売、小売などの実額コストを算出し物価統計などを反映させた価格形成について協議がなされており、新しい制度設計の作業が進められている。



自治体DXについて

(質問) 住民ニーズの多様化に対応するため、行政手続きや窓口業務のオンライン化などフロントヤード改革を進め、住民の利便性向上を図ると同時に庁内業務効率化を行う必要があるが、市の取り組みは。

(答弁) 電子申請など約170件をオンライン化し、マイナンバーカードの活用や決済システムの導入を進めていく。またノート型パソコンの導入によって、DX推進に不可欠な職員の意識改革を促す。さらに現在は部分的に留まる無線LANの整備を今後検討していく。



その他の質問 ○公共施設マネジメント



リニア中央新幹線計画について

(質問) リニアの品川ー名古屋間の工事は、工事「未定」が4区間もあるなど大きく遅れている。JR東海はまずは品川ー名古屋間を開業、その後名古屋ー大阪間を建設しており、三重県期成同盟会が要望する最速2037年開業は不可能、「三重県駅」の決定も先送りになる。現状の進捗実績に沿った計画にすべきではないか。

(答弁) 本市としては、早期全線開業に向けて県期成同盟会を通じて要望し、品川ー名古屋間の先行開業を見据えた交通ネットワークの形成を関係団体と協力して目指す。

その他の質問 ○石薬師小の屋内運動場



共生社会実現の推進について

(質問) 重層的支援体制整備事業の本市の取り組み状況と課題について尋ねる。相談員の交代による途切れのない相談体制について問う。

(答弁) 重層的支援体制整備事業は、複合的な福祉課題や制度のはざまにあるニーズに対し、包括的かつ継続的な支援を目的に実施している。支援機関が相談を断らずに受け止め、地域の関係者とも連携を図り支援体制を構築し、属性を問わない相談体制、参加支援、地域づくり支援を柱に取り組んでいる。支援が相談員の交代によって途切れないよう内容などを記録、情報共有し対応している。



生活保護行政のあり方について

(質問) 直近の裁判は3件とも敗訴し、国家賠償請求もされている。2019年の申請時の顔写真撮影事件や、今回の財布の中身確認問題、判決を正しく受け止めないと、本市の生活保護問題は根深く硬直的な組織風土である。根本的な運用・人権意識改善には、内部検証だけでなく第三者委員会を設置し改善計画など報告すべき。

(答弁) 裁判をとおして、既に運用の見直しを講じており、運用全般についても随時改善を図っているため、第三者委員会を設置する必要はないと考えている。

その他の質問 ○エアコン購入・設置の補助



鈴鹿市の都市計画について

(質問) 人口減少に当たり、鈴鹿市南部の土地利用について、都市計画の方針を問う。

(答弁) 鈴鹿市都市マスタープランにおいて、南部地域には、スポーツ・レクリエーションゾーン、既存工業ゾーン、市街地形成検討地区、新土地需要エリアなどを設定している。今後も、多様な都市活動や交流の創出・活性化と、新たな産業の育成・立地推進に向け、鈴鹿市都市マスタープランにおける都市づくりの方針に基づき、南部地域の土地利用を進めていきたいと考えている。

その他の質問 ○鈴鹿市の道路行政



再犯防止推進計画について

(質問) 計画推進における自己評価と公表についての考え方は。

(答弁) 鈴鹿市再犯防止推進計画は第3期鈴鹿市地域福祉計画に包含して作成し、鈴鹿市地域福祉計画審議会で外部評価をいただきながら推進を図っていく。自己評価と審議会による評価の結果は市ウェブサイトで公表していく。再犯防止のために、これらの評価を通じて重点項目の取り組みを進めるとともに、地域での生活への不安を抱える方からの相談を関係する支援機関などと連携し、適切な支援につなげる取り組みが重要と考える。



鈴鹿市こども条例について

(質問) 令和7年4月に「鈴鹿市こども条例」が施行されたが、①条例策定の経緯および②条例に基づいた今後のことども政策の展望についてお聞きしたい。

(答弁) ①こども条例は、こども・子育て支援の基礎となる理念条例とし、アンケート調査などによる意見を参考しながら策定した。②現在本市が取り組む各種こども施策を継続し、こどもの意見を施策に反映する仕組みや、こども条例の普及啓発に取り組んでいくとともに切れ目のないこども・子育て支援の継続や新たなこども施策に取り組む。



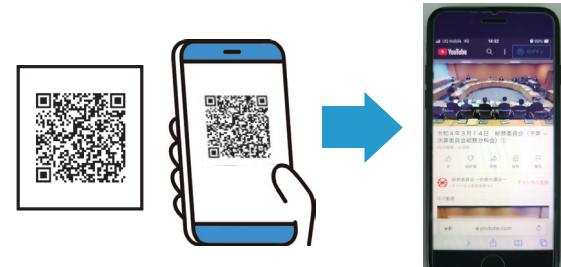
クラウド・生成AI時代における新たな働き方について

(質問) クラウド・生成AI時代における本市の働き方について問う。AI活用の現状と課題、Google Workspaceを先行導入している教育現場での利用状況を問う。

(答弁) AI-OCRやRPA導入で効率化を推進し昨年度に生成AIを本格導入した。利用量は増加している中、発行アカウント数のうち利用者数30～40人、さらなる利用促進を図る。教育現場では、Google Workspace、Gemini、NotebookLMを活用開始した。生成AIの特徴や具体的な活用方法などを教職員に周知して、利用促進を図る。



各委員会での主な議案審査状況および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画をご覧いただけます。



※動画視聴の際は、料金プランなどを確認し、思いがけず高額な請求を受けることにならないようご注意ください。

「こどもと議員のふれあいミーティングinすずか」を開催します

～君のつぶやき・思いを聴かせて！～

- ・市議会議員と話をしてみませんか。
- ・あなたの意見や日頃思っていることを聴かせてください。
- ・議場見学や写真撮影もあります。

とき：令和8年2月1日（日）13:30～15:30

ところ：鈴鹿市役所12階 1203 大会議室

参加対象：小学校5、6年生と中学生

申し込み：令和7年11月20日～12月23日までに
右のQRコードから

申込フォームはこちら



常任委員会の行政視察報告

各常任委員会では、本年度の所管事務調査事項について先進的な取り組みを実施している自治体への行政視察を行いました。本市の取り組みに生かすため、行政視察で調査した内容を含め、今後さらに協議をし、各常任委員会で意見を取りまとめた上で、市長に提言を行います。

総務委員会

7月29日~31日

○神奈川県海老名市「消防指令センターの取り組みについて」

海老名市・座間市・綾瀬市が共同運用する県央東部消防指令センターは、市域を超えた連携協力が必要と考え、協議会の設置、消防指令センターの建築、高機能消防指令システムの構築などを行い、平成27年4月から運用を開始しました。消防指令センターを近隣自治体と共同運用することで、連携協力体制が強化できるほか、単独市での運用に比べ安価となることや各自治体の指令業務に従事する人員数などで期待できる効果がありました。

本市も、津市、亀山市との消防指令センターの共同運用を予定しており、工事による断線の際の対応、バックアップ機能、各市の地理調査など、参考となる点が多くありました。



神奈川県海老名市

○その他の視察先と視察目的

茨城県水戸市「企業版ふるさと納税の取り組みについて」

埼玉県川越市「企業版ふるさと納税の取り組みについて」

文教環境委員会

7月28日~30日

○東京都立川市「途切れのない教育支援体制の充実について」

立川市では、令和7年に子育て支援・保健センター「はぐくるりん」をオープンしました。地上3階建て施設の1階は休日診療エリアと児童発達支援センター、2階は乳幼児健診エリアと屋上庭園、3階は各種相談エリアと職員執務室となっており、子育て関連部署間のスムーズな連携により、子どもの成長過程に応じた途切れのない支援を提供するとしています。

窓口を集約してワンストップ化し、関係部署が共同で対応できる体制や、職員の執務室や打ち合わせスペースなどの共通化により関係部署の職員同士が円滑にコミュニケーションを図ができる工夫など、参考になる点がありました。



東京都立川市

○その他の視察先と視察目的

富山県立山町「途切れのない教育支援体制の充実について」

「これからの図書館の在り方について」

富山県富山市「カーボンニュートラルの実現に向けた取組について」

石川県「これからの図書館の在り方について」

地域福祉委員会

7月29日~31日

○神奈川県川崎市「こどもまんなか社会の実現に向けた取組について」

川崎市では、子どもの意見表明を支援する取り組みとして、川崎のまちを良くするためのアイデアを募集する「子ども・若者の“声”募集箱～君のつぶやきをきかせて～」を設置し、市のホームページやGIGA端末などインターネットを活用し、子どもたちが普段から市に対して想っていること感じていること、川崎のまちを良くするためのアイデアなどの意見聴取に取り組んでいます。届いた声は、市政運営の参考意見とし、市長が1つ1つに目を通し対応方針を示し、各部局が対応しています。そして、市長が毎月、届いた声の中から1通に対してメッセージを発信しています。

川崎市のことの声を聞く募集箱については、市長が自ら子どもの意見を聞くことを定期的に行っており、また、それに対してメッセージを送っていることが非常に良い取り組みであると感じました。



神奈川県川崎市

○その他の視察先と視察目的

静岡県藤枝市「福祉分野と連携した生活交通の確保策について」

東京都文京区「令和7年度未就園児の定期的な預かり事業について」

東京都日野市「発達・教育支援センター「エール」について」

産業建設委員会

7月30日~8月1日

○愛知県瀬戸市「地域資源を活かした官民連携による地域活性化について」

瀬戸市では、全国最大級の陶磁器イベントである「せともの祭」について、大せとものまつり協賛会という組織を設け、瀬戸市、商工会議所、観光協会が主な事務局として活動しています。

市は施設の借用、駐車場調整、広報などを担当し、観光協会は清掃活動やPR活動、イベント企画を実施しています。また、商工会議所は行事の取りまとめを行っています。このように3団体が一体となり、それぞれが役割を分担しながら情報を共有し、多くの関係機関と協力することで、36万人が来場する大規模なイベントを大きな問題もなく運営しています。

また、せともの祭開催前に、市民や企業が参加する清掃活動を行うなど市民や企業が一体となって祭りの準備を進めており、本市においても、参考になる点が多くありました。



愛知県瀬戸市

○その他の視察先と視察目的

群馬県前橋市「農業集落排水事業の在り方について」

静岡県富士市「立地適正化計画について」

ハラスメント対策検討特別委員会を設置

特別委員会は、常任委員会の例外をなすもので、2つ以上の常任委員会の所管に属するものや、案件が重要で1つの常任委員会の負担に耐えられないものなど、特定の事項を調査または審査する場合に、議決により設置が可能です。

今回、9月29日の9月定例議会本会議において、鈴鹿市議会議員および職員に係るハラスメントの防止について調査研究するため、7名の委員をもって構成する「ハラスメント対策検討特別委員会」の設置を議決し、設置が決定しましたので、お知らせします。

ハラスメント対策検討特別委員会

○設置目的

鈴鹿市議会議員および職員に係るハラスメントの防止について調査研究することを目的とする。

○調査項目

議員から職員または職員から議員へのハラスメントの防止に関する調査

○設置期間

令和7年9月29日から、調査または審査が終了し議長に報告書を提出するまでの期間



YouTubeでライブ配信しています

ハラスメント対策検討特別委員会の様子はYouTubeでライブ配信しています。YouTubeは市議会ホームページから視聴することができるので、ぜひご覧ください。

ハラスメント対策検討
特別委員会YouTubeページ



ハラスメント対策検討特別委員会の様子 (YouTube)

(注) スマートフォンなどによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信業者から高額な料金を請求される場合がありますので特にご注意ください。

議会を傍聴しませんか

議会にお越しください

議会に来られなくても…

●傍聴の手続き方法

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります(締め切り時点で傍聴希望者が定員を超えた場合は、抽選により決定します。)。

なお、会議の開催予定は、市議会ウェブサイトや市役所掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名



委員会室：定員10名

●音声を聞き取りにくい方に

議場の傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドホンを貸し出していますので、議会事務局へお申し付けください。



また、手話通訳や要約筆記をご希望の方は、事前に議会事務局へご相談ください。

11・12月の会議日程

(注)日程は変更になる場合があります。

11月	25日	火	10:00	本会議(提案説明)	12月	12日	金	10:00	総務委員会(分科会)
	26日	水	14:00	議会運営委員会					地域福祉委員会(分科会)
12月	3日	水	10:00	本会議(質疑・一般質問)		15日	月	10:00	常任委員会予備日※
	4日	木	10:00	本会議(一般質問)		16日	火	10:00	常任委員会予備日※
	本会議(一般質問)					予算決算委員会			
	5日	金	10:00	議会運営委員会(本会議終了後)		各派代表者会議(予算決算委員会終了後)			
	各派代表者会議(議会運営委員会終了後)					広報広聴会議(各派代表者会議終了後)			
	8日	月	10:00	本会議(一般質問・追加議案等・委員会付託)		17日	水	10:00	議会運営委員会
	予算決算委員会(本会議終了後)					本会議(委員長報告・討論・採決)			
	9日	火	10:00	一般質問予備日※					
	文教環境委員会(分科会)					全員協議会(本会議終了後)			
	11日	木	10:00	産業建設委員会(分科会)					

※一般質問通告の状況により、また、常任委員会の進行状況により、開催しない場合があります。

皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の議会運営の参考にさせていただきます。

宛先は

鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL : 059-382-7600 FAX : 059-382-4876
E-mail : giji@city.suzuka.lg.jp